

三重県松阪市 「企業活動を支えるための雇用支援、若年人材の確保」

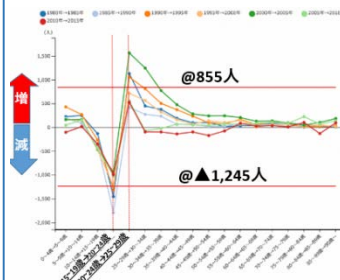
- 松阪市は、景気変動に強い、多様な産業構造の構築及び地域経済の活性化を目指し、「松阪市企業立地戦略」を平成30年度中に策定し、企業の誘致、立地企業の定着を進めていくこととしている。
- 松阪市において国内外からの新規立地が進む中、今後の人口減少による働き手確保への影響が想定され、市内企業の雇用ニーズに応えるためには、地元からの雇用のみならず、地域外から求職者を呼び込むことが課題。
- こうした背景を踏まえ、松阪市における企業立地戦略の推進を補完すべく、企業活動を支える働き手、若年人材の確保に向けた支援方策の検討を目的に、本ワークショップを実施した。

実施概要

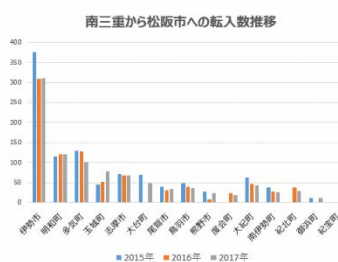
- ・日 時：平成30年12月18日（火）
- ・会 場：松阪市役所議会棟第3・第4委員会室
- ・参加者：21名（松阪市長、副市長、教育長、松阪市職員、地域企業、商工会議所等）
※聴衆を含む約50名で開催
- ・有識者：
青山社中株式会社筆頭代表CEO 朝比奈一郎氏
青山社中株式会社 グローバル事業担当 水野貴允氏
- ・使用したRESASのデータ：
人口マップ、地域経済循環マップ、求人・求職者等
- ・その他利用したデータ：平成27年度三重県の市町民経済計算、高等教育コンソーシアムみえ「県民就職と地域活動に関する意識調査アンケート」等

現状分析：企業活動を支える働き手、若年人材の確保の状況

- 松阪市の社会増減では、進学年代層が大きく減少する一方で、就職年代層の増加はその2/3にとどまり、若年人口の域外流出が進んでいる。
- 松阪市民へのアンケート調査によれば、市外への転出希望者のうち「希望する就職先がない」と回答する層は、10歳代 20%、20歳代 14.3%。
- 松阪市を含めた南三重地域は人口53万人。松阪市への転入超過数上位自治体は当該地域が占め、転入数は毎年800人を超えるほか、近隣自治体からの通勤・通学も多く、松阪市は南三重地域の人口ダム機能の役割を担っている。



企業バスツアーの様子
(松阪市主催)



施策の方向性：企業の知名度向上及び南三重地域の人口ダム機能強化に向けて

松阪市内企業の知名度向上や、松阪市を含めた南三重地域の人口ダム機能強化に向け、周辺地域と連携して、企業の魅力を若年層とその親世代に紹介するための方策（企業バスツアー）や、キャリア教育等を拡充するとともに、市外へ転出した就職・進学予定者に対する企業情報提供などに取り組む。



意見交換の様子



市職員による発表の様子